

地域医療の充実と外国人患者の受け入れ等による経済の活性化

1 ニーズや背景

- (1) 練馬区は、西武池袋線、西武新宿線、東武東上線、都営大江戸線、東京メトロ有楽町線・副都心線により国際的ビジネス都市である新宿、六本木、有楽町や羽田空港に通じる大門へと繋がっており、東京都のさらなる国際化を後方で支える要衝の地である。
- (2) 都立光が丘公園や石神井公園などの恵まれた自然環境と、世界需要が見込まれるアニメーション関連の制作会社などが多数あり、日本に在住、訪日外国人に対して極めて魅力的な街であり観光誘致にも適している。
- (3) 光が丘地区には地区内の小学校を統合再編した際の跡施設を活用した多文化共生社会推進施設やインターナショナルスクールが配置されており、練馬区における国際交流推進の中心的地区である。一方、ニュータウンとして開発されてから 25 年以上経過し、少子高齢化の進行により人口構成の変化への対応が必要となっている。
- (4) 大規模災害への対応について練馬区は東京都内でも高台に位置し、岩盤も強固であることから、首都直下地震の被害想定において中心区に比して被害が少ないとされている。また、都指定の避難所である光が丘公園、石神井公園、豊島園、城北中央公園、大泉中央公園などがあり、避難者の受け入れや災害医療において環状八号線や関越自動車道、東京外環自動車道の玄関口として他県からの派遣医療チームを受け入れる際の要衝地となる。また、光が丘を始発とする都営地下鉄大江戸線は、東京都地域防災計画において大深度を走るが故に地震に強い特性を活かした輸送計画が立てられているなど、地震時の緊急輸送路線の一つとなっている。現に東日本大震災時には当日 20 時過ぎにいち早く復旧を果たしている。
- (5) 順天堂練馬病院および練馬光が丘病院は災害拠点病院に指定されており、特に順天堂練馬病院の建物は免震構造であり、災害時において東京の枢要な核となる病院の役割を果たすことが期待される。
- (6) 練馬光が丘病院は築後 27 年を経過しており建物の老朽化が著しいこと、および旧施設基準による設計のため施設全体が狭隘であり医療機能や療養環境の向上が図れないことなどから建替えを検討する時期にきている。
- (7) 順天堂練馬病院は、病床稼働率が平成 25 年度は 97.7%と高く、また地域救急医療センターとして救急車搬送数が月平均 500 件以上、年間 6,234 件と救急車受け入れ実績が都内有数の病院である。現在の病院施設ではさらに病床稼働率を高めることや受け入れ患者数の増加を図ることが難しく、増床が課題となっている。

2 具体的なプロジェクトの内容

このプロジェクトは、公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院と順天堂大学医学部附属練馬病院を想定している。二つの病院での実施の場合は【共通】とし、練馬光が丘病院のみの場合は【光が丘】、順天堂大学医学部附属練馬病院のみの場合は【順天堂】と表記する。

(1) 国際的な病院運営

外国人対応病棟の設置【光が丘】

外国語の堪能な看護師を重点的に配置する病棟を新たに設置し、外国人の入院治療に対応する。

外国人患者の受入れ【順天堂】

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、順天堂医院（文京区・本院）が行う外国語の堪能な医療従事者を配置する新たな病棟と連携し、外国人の入院治療に対応する。

外国人医師・看護師等の配置【共通】

高い水準の医療技術および知識を持つ外国人医師、看護師、コ・メディカルスタッフを配置し、医療サービスの質の向上を図る。

発展途上国等からの臨床研修生の受入【共通】

発展途上国等から医師・看護師・その他医療技術職の研修生の受け入れを行い、将来、出身国における医療水準の向上を担う人材を育成することで国際貢献を図る。

日本人スタッフの国際化教育の推進【共通】

外国人の生活習慣に造詣が深く、外国語が堪能な職員を育成するために語学教育等の充実を図る。

メディカルツーリズムの推進【順天堂】

順天堂医院と連携し、医療を目的とした外国人の旅行を推進し、高度医療の需要増や経済効果を図る。

(2) 2025年問題への対応

治験の効率化【共通】

高度先進医療を行う病院のネットワークに加わり医療品および先進医療機器についての治験を共同で実施

認知症センターの設置【光が丘】

認知症に関する相談から最先端医療の提供のほか、関係機関との連携を推進し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることのできるシステムの構築をめざす。

在宅医療ネットワークの構築【光が丘】【その他】

地域の医療機関との診療情報の共有を進め、在宅支援診療所等の主治医のサポート体制を構築する。また、歯科診療所を含めた関係機関ネットワークにより摂食嚥下機能リハビリ、口腔ケアを推進し、誤嚥性肺炎を未然に予防する仕組みづくりを行う。さらには介護老人保健施設と連携したショートステイの活用などを推進する。については回復期・慢性期に対応した病院や介護療養型老人保健施設の整備を促進するため生産緑地地区への施設建設を可能とする。

長寿健康啓発事業の創設【順天堂】

長寿に関する情報の発信のため講演会、健康教室を開催する。スポトロロジーに基づく寿命伸長の活動を行い、住み慣れた地域で安心して医療を受けられる環境を整備する。

(3) 首都直下地震への備え

病院施設の免震化【光が丘】

大規模災害時に災害拠点病院としての機能と役割を発揮するために施設の免震化を図る必要がある。

病床の増設【共通】

首都直下地震発生時に湾岸方面をはじめとする中心区の医療機関が甚大な建物被害により医療の提供が困難となった際、内陸部に位置し、他県医療チームの受入も容易な練馬光が丘病院および順天堂練馬病院が広域的搬送により負傷者を受入れることは東京都全体の災害対応能力の向上に資することとなる。ついては受入能力の拡充のために病床の増加を図る。

災害時には中心区に滞在する外国人の治療を含めた広域的対応を図る。

3 想定される実施主体

- (1) 公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院
- (2) 順天堂大学医学部附属練馬病院
- (3) 練馬区

4 事業実施のために必要な規制改革事項

- (1) 病床規制による病床の新設・増床の容認【共通】
- (2) 容積率等の土地利用規制の見直し【共通】
- (3) 外国医師の診察の業務解禁【共通】
- (4) 臨床修練制度の対象拡充【共通】

5 実施による日本経済再生に向けた効果

- (1) 外国語で受診できる医療体制の整備によるグローバル企業の誘致推進【共通】
- (2) 発展途上国からの臨床研修生を受け入れることによる国際貢献【共通】
- (3) 認知症治療に関する知見の蓄積による最先端医療創出への寄与【光が丘】
- (4) 災害対応能力の向上による大規模災害時における経済的損失の減少【共通】
- (5) 災害対応能力の向上による国際的評価の上昇【共通】
- (6) 滞っておよび訪日外国人の医療の受入れによる経済効果【共通】